

まちの話題

『サンタさんありがとう!』

12月24日(土)、毎年恒例となっている『クリスマス大作戦』が実行されました。

これを行っているのは、大崎町青年団(諸木昭太団長)で、子ども達の一夜の夢をかなえようと、事前にお父さん・お母さんから預かったプレゼントを、青年団扮するサンタコースが親に代わって手渡すというものです。

何も知らない子ども達は、サンタさんの突然の訪問に驚きながらも、たいへん喜んだ様子でプレゼントを受け取っていました。団長の諸木さんは「今年も30組以上の申し込みがありました。みなさんからは好評をいただいていますので、今後も続けていきたいと思えます。」と話されました。



▲写真左が山之口翔一さん、右が原田二成さん

『立派な自衛官になります!』

本町出身で現在、自衛隊生徒(少年自衛官)としてがんばっている原田二成さん(陸上自衛隊少年工科学校1年・神奈川県)と山之口翔一さん(海上自衛隊第1術科学校1年・広島県)が12月27日(火)、町長室を訪れ、近況報告を行いました。

自衛隊生徒とは、中学校卒業者を対象とした制度で、約3年間は自衛官として必要な防衛教養、各種技術の基礎等の教育や各種訓練などを受けながら、一般高校と同じ学科の教育を学び、この期間を終えると、それぞれ実習や専門的な技術を学びます。

原田さんは「いろいろな経験を積み、立派な自衛官を目指します。」、山之口さんは「防衛大学に進むためにがんばっていきます。」と今後の抱負を語ってくれました。

東町長は「自分の目標に向かってがんばってください。」と激励しました。

『今年は238人が大人の仲間入り』

1月5日(木)、町中央公民館大ホールで大崎町成人式が行われ、昭和60年4月2日~昭和61年4月1日生まれの新成人238人のうち182人(男子101人、女子81人)が出席しました。

式典では、東靖弘町長や小野光夫議長らが激励をしたほか、記念品贈呈を植村沙織さん、新成人の抱負を益山哲昭さん・友原桂奈さん、また、お礼の言葉を福元孝男さんが述べました。

久しぶりの級友との再会に、近況を語り合ったり、写真を撮ったりする新成人のなごやかな姿がたくさん見受けられました。



『大崎町消防出初式』

1月6日(金)、新春恒例の消防出初式が、研修センターグラウンドで開催されました。

町内6分団・消防団員約180人が参加し、小型動力ポンプの操作や各分団ごとの分列行進を行ったあと、同グラウンドから三文字までラッパ隊を先頭に隊列を組み、自動車隊とともに市中行進を行い、火災予防を訴えました。また、持留川へ流れる用水路をはさんで、放水演習も行われました。

その後、町中央公民館に移動し、町長講評や消防殉職者への黙とう、表彰伝達式などが行われました。